

# 市民意見交換会にかかる意見・質問及び回答(令和6年12月末時点)

委員会名: 建設常任委員会

番号	委員会等で整理した市民からの意見・質問等	意見・質問等への対応(執行部からの回答内容を含む)
1	J X金属関崎みらい海星館周辺の県道の状態が悪いのでどうにかならないか。	<p>担当部局(土木建築部)へ確認したところ、以下のとおり回答がありました。                      「一般県道佐賀関循環線の整備については、毎年大分県へ要望を行っており、今後も引き続き要望していく。」                      本委員会としても、一般県道佐賀関循環線の整備状況を注視していくとともに、担当部局に対し、県への要望を継続するよう求めていきます。</p>
2	街路樹の管理について、自治会が市と協定を結ぶ際は、柔軟に対応してほしい。	<p>担当部局(土木建築部)へ確認したところ、以下のとおり回答がありました。                      「街路樹の管理については、市が自治会と管理協定を結ぶ際、協定区域内にて一括での締結をお願いしている。本案件については、ご意見をいただいた自治会から事前にご相談をいただいているが、一部の街路樹に限定した内容であったため、市と自治会が管理する街路樹が混在することから、一括での協定締結をお願いしているところである。」                      本委員会としても、街路樹の今後の管理の在り方について担当部局と協議していきます。</p>
3	道路や歩道の除草が出来ておらず、修繕が必要な箇所が見受けられるため、きちんと維持管理をしてほしい。	<p>令和6年第3回定例会の決算審査審査特別委員会建設分科会において、道路維持費に関する事務事業評価を実施しました。担当部局(土木建築部)から事業内容や決算額に関する説明を受ける中、管理道路の老朽化による修繕要望の増加や労務単価・資材価格の上昇傾向が続いている状況を踏まえ、市民からの要望に可能な限り迅速に対応できるよう、職員の配置状況を見直すことなどを求め、予算を増額して事業を行うべきである「拡充」と評価しました。今後は、建設常任委員会としても、事務事業評価結果を踏まえた令和7年度当初予算への反映状況等について注視していきます。</p>
4	市営住宅の空き部屋の発生による収入減について、市として対策をすべきではないか。	<p>担当部局(土木建築部)へ確認したところ、以下のとおり回答がありました。                      「市営住宅については、高齢入居者の福祉施設への転居などによる退去件数の増加や、近年の人件費や資材価格の高騰などにより、募集を行うための修繕費が不足しており、募集戸数の確保が困難な状況となっていることから、年々空き住戸が増加している。そのようなことから、現時点では修繕費が比較的安価な空き住戸を中心に修繕を行うことなどにより、募集戸数の確保に取り組んでいる。今後も指定管理者等と空き住戸解消に向けて検討を行うなど、住宅使用料収入の確保に努めていく。」                      本委員会としても、市営住宅の空き住戸対策の推進を求めていきます。</p>

## 市民意見交換会にかかる意見・質問及び回答(令和6年12月末時点)

委員会名:建設常任委員会

番号	委員会等で整理した市民からの意見・質問等	意見・質問等への対応(執行部からの回答内容を含む)
5	<p>自治会の高齢化等により、公園の樹木の剪定や除草などの維持管理が十分にできていないため、対策を検討してほしい。</p>	<p>令和6年第3回定例会の決算審査審査特別委員会建設分科会において、公園管理費に関する事務事業評価を実施し、担当部局(都市計画部)から事業内容や決算額に関する説明を受けました。公園・緑地の維持管理にあたっては、公園数の増加、市民要望の多様化等の課題への対応に苦慮している状況が認められたことから、公園等に関する課題を整理するとともに、引き続き業務効率化に向けた工夫を図っていくことを求め、予算、事業内容ともに現状を維持すべきである「継続」と評価したところです。建設常任委員会としても、引き続き公園の維持・管理の状況について注視していきます。</p>